

平成27年度事業報告書

全 般

平成27年度は日本海海戦110周年の節目の年であり、各種記念行事を行うとともに諸事業を概ね計画どおり実施することができた。

総観覧者数については、近年では最高を記録した昨年度を上回り、東京オリンピックが開催された昭和39年以来51年ぶりに25万人を超えた。

売店売上額についても、53,680千円となり、過去最高額を記録した日本海海戦110周年の平成17年度を超えた。

展観態勢については、常設展示の充実を図るとともに特別展「日本海海戦110周年及び横須賀製鉄所150周年」及び特別展「三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション」を開催し、観覧層の拡大に努めた。また、平成31年度を目途とする現展示設備のIT化に着手した。

1 艦の修理整備

上甲板の腐食鋼材、腐食木甲板の新替え及び船体塗装等の修理整備及び観覧者の安全対策を実施した。

(1) 官（海上自衛隊）による修理工事

（電気の部）

- ア 中甲板展示室等の照明器具（14か所）をLEDに新替え
- イ 高圧受電設備定期点検・整備
- ウ 艦内監視装置カメラ2台の換装

（船体の部）

- ア スタンウォーク木製部の下地処理、液体ガラス塗装
- イ 前甲板右舷アンカーベッド木製防舷材を鋼製に新替え
- ウ 上甲板右舷後部、ウォーターウェイ補修、下地処理、液体ガラス塗装
- エ 上甲板右舷後部、木甲板等の新替え（約5分の1）、下地処理、液体ガラス塗装
- オ 上甲板右舷後部、排水口枠の新替え
- カ 天幕支柱基部取付直し（木甲板等新替え部分）

(2) 保存会による整備

- ア 中甲板通路の清掃、ワックス掛け
- イ NTT東日本による電話線の光回線への変更、事務室電話機の換装
- ウ 事務室床のタイルカーペット換装
- エ ボートデッキの錆うち及び塗装（職員による）
- オ 上甲板右舷前部ハンドレール取付部補修（職員による）
- カ 上甲板腐食箇所の部分補修（職員による）

(3) 海上自衛隊隊員等による奉仕整備

- ア 第2術科学校海士各課程学生による艦内外の清掃、真鍮磨き及び錆うち等

の奉仕作業を計11回(延べ155名)

イ 横須賀地区上級海曹会会員、隊員有志及び米海軍とその家族による上甲板
全面洗浄奉仕作業

(ア) 5. 16(土) 約 70名

(イ) 8. 29(土) 約 80名

(イ) 11. 1(土) 約170名

ウ 横須賀入港艦艇等6隻乗員(延べ282名)が塗装等の奉仕整備

2 日本海海戦110周年関連事業

主要行事は以下のとおりで細部は別紙のとおり。

(1) 記念演奏会

5. 16(土)、横須賀芸術劇場において、海上自衛隊東京音楽隊の協力を得て「記念演奏会」を開催した。一般公募者及び招待者1,310名の入場者が、東京音楽隊の演奏と三宅由香里3曹の歌声を堪能された。

(2) 記念講演会

5. 23(土)、記念艦三笠講堂において、講師としてJR東海名誉会長 葛西敬之氏をお迎えし、「21世紀に求められるリーダーとは」と題して「記念講演会」を開催した。201名の入場者が、講師の明確な世界観と歴史観に基づくリーダーのあり方について傾聴された。

(3) 記念式典及び同附帯行事

5. 27(水)、記念艦三笠講堂において、110周年の節目の年ということもあり、武居海上幕僚長、井上横須賀地方総監、鮎田自衛艦隊司令官、トーマス米第7艦隊司令官、吉田横須賀市長はじめ内外多数のご来賓、及び三笠会員の出席をいただき、「記念式典」を厳粛かつ盛大に挙行了した。

参加者は、式典に引き続き行われた、講師一龍齋貞花師匠による「講談：日本海海戦」及び横須賀音楽隊による「艦上演奏会」を楽しまれ、引き続き行われた「艦上祝宴」も盛況であった。

また、式典開始前には、例年どおり裏千家淡交会横須賀支部による呈茶も行われ多くの方が楽しまれた。

式典参加の来賓及び三笠会員の内訳は次のとおり。

区 分	出席者数	区 分	出席者数
議員等	24	友好団体	37
自衛隊部隊指揮官等	30	個人支援者	14
外国武官、米海軍指揮官等	10	三笠保存会役員、評議員	20
ご係累	27	三笠保存会会員	345
県、市職員等	10	合 計	517

3 展観態勢

(1) 資料の寄贈等

写真：三笠佐世保港爆沈時の写真4枚(海上自衛隊佐世保資料館)

第11代三笠艦長 久保少将の写真(久保正彦氏)

書：東郷元帥直筆の書（八木典喜氏）

印刷：三笠掌帆長境吉次郎兵曹長関連の人事書類（森 光義氏）

彫刻：東郷元帥の立像（吉川城太郎氏）

旗布：三笠展示の戦艦「朝日」のものと推定される記念軍艦旗

（元米国海兵隊員ビル・ケラー氏）

(2) 収蔵資料の現況

区分 種類	三笠保存会 (所蔵品)	海上自衛隊 (無償借受)	個人 (寄託)	27年度 受入	合計
勲章	55	0	12		67
武器	64	0	3		67
絵画	82	5	8		95
印刷	159	11	2		172
書	184	52	40	1	277
被服	86	0	9		95
写真	306	195	9	2	512
証紙	111	0	5	1	117
旗布	13	0	3	1	17
工作	123	21	12		156
陶器	19	0	4		23
彫刻	20	0	1	1	22
模型	21	9	37		67
計器	18	0	3		21
録音	28	0	0		28
図書	79	0	2		81
展示物品	0	8	0		8
小計	1,368	301	150	6	1,825
参考図書	2,809	0	0	4	2,813
合計	4,177	301	150	10	4,638

(3) 展示のIT化事業

2019年度までに、来艦者が史実を理解し易くするとともに、インターネットによる資料の閲覧も可能となるよう艦内展示を時代に相応しい姿に更新する事業を開始した。その事業のうち2015年度分の以下の事業について公募を行った。

- ・記念艦「三笠」の展示のIT化研究および基盤構築
- ・戦艦「三笠」の艦内説明のIT化
- ・バルティック艦隊の東航の図のIT化

6社から公募資料の要求があり、その内2社から提案を得て、業者選定を行った結果、株式会社横須賀テレコムリサーチパークと3月31日に事業契約を締結した。

(4) その他

ア 12月に第4回展示整備検討会を開催した。

イ 2番砲室（副砲操法展示）及び12番砲室（日本海海戦錦絵展示）の展示物の入れ替え、12番砲室（副砲操法展示）に揚弾員人形×1を追加、12番砲室（日本海海戦錦絵展示）にテレビモニターを設置し、日本海海戦錦絵DVDの放映を開始した。

ウ 観覧時間の長い1番砲室及び2番砲室にユニット空調設備を新設した。

エ 日露戦争当時の艦船模型83隻のうち、5隻（累計：8隻）が納入された。

オ 中甲板後部主機械室説明室壁面にテレビモニターを設置し、機関メカニズムの動画（CG）放映を開始した。

カ 絵画（三笠艦橋の図他2点）を専門業者による修復作業を実施した。

キ 長官公室、長官執務室及び士官室のパーテーションポール及び飾りロープを換装した。

4 特別展

(1) 三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション

日露戦争時の連合艦隊及びロシア艦隊（バルチック艦隊）並びに太平洋戦争時の連合艦隊及び海上自衛隊自衛艦隊の模型約260隻を展示中で、大好評のため29.5.31（水）まで期間を再延長することとした。

(2) 日本海海戦と横須賀製鉄所

27.5.2（土）から11.30（月）の間、中甲板右舷展示室において、特別展「日本海海戦と横須賀製鉄所」を開催した。初日12時から吉田横須賀市長、中西横須賀地方総監部幕僚長、平松横須賀商工会議所会頭等を迎えオープニングセレモニーを開催した。

5 主催行事

(1) 三笠こどもミュージアム（第4回）

7.18（土）から8.30（日）までの間、次のイベント等を実施した。

ア 「三笠こどもノート」の配布

イ みかさ工作ルームの設置

ウ こどもスタンプラリー（主に土日祝日）

エ 軍服着用記念撮影（主に土日祝日）

オ ハンモック体験（土日祝日のみ）

(2) 船の模型コンクール（第52回）

横須賀市内の小学校28校から622点の出品があり、9.8（火）横須賀市教育委員会の杉戸美和先生による審査を行った。金賞から努力賞まで71名に対して

9.12（土）午前三笠講堂において表彰式を行い、9.13（日）から10.13（火）まで三笠下甲板において全作品を展示した。

(3) 子供たちのプラモデル教室（第9回）

10.3（土）子供20名と保護者18名の参加を得て株式会社ハセガワ及び有限会社フォーサイトの協力のもと上甲板後部で開催した。

(4) お正月イベント（第4回）

正月三が日は「お正月は三笠でパワーをGet！」をスローガンに次のイベン

トを開催し、2, 198名の家族連れが訪れた。

ア パワースポット巡り

イ 日本海海戦で活躍した有名な海軍軍人のスタンプラリー

ウ 甘酒サービス

エ 掲揚軍艦旗等プレゼント申込み受付（今回初めての企画）

(5) 書初め大会（第23回）

1. 4（月）横須賀市内の小学校7校から42名の子供たちの参加を得て、下甲板においてを開催した。同日、横須賀市教育委員会指導主事伊藤睦美先生による審査を行い、金賞から努力賞までの作品を選考し、15時から表彰式を行った。作品は1. 6（水）から1. 18（月）の間、艦内（第2ビデオ室）で展示した。

(6) 新春凧あげ教室（第8回）

1. 9（土）13名の参加者を得て「三浦の浜で凧をあげる会」の指導協力のもと、三笠下甲板と三笠公園においてを開催した。午前中は自分たちで書いたオリジナルの絵を持ち込んで和凧作りを行い、午後からは三笠公園内の芝生広場で「凧あげ」に挑戦した。

(7) こどもラジオ教室（第4回）

3. 21（月）小学生等参加者20名の参加を得て、講師として三笠保存会評議員太田氏、工作指導としてYRPアマチュア無線クラブ等13名の協力のもと下甲板ホールにおいて開催し、ゲルマニュームラジオの製作した。

6 協賛行事等

(1) 日清戦争終結120周年記念展示

4. 11（土）から4. 19（日）までの間、向後進一・文雄氏保有の「日清戦争に関する戦争画等を7番砲室に展示した。

(2) よこすかカレーフェスティバル

5. 9（土）及び10（日）、三笠公園で開催された「よこすかカレーフェスティバル」に協賛し、観覧料（大人、シニア、高校生）を一律300円（中学生以下は無料）とした。（来艦者：5, 424名：昨年比87. 2%）

(3) 山口采希（あやき）コンサート

5. 10（日）15:00～17:00の間、「山口采希のうたひろば・横須賀～バンザイ！連合艦隊大勝利110年！各員一層奮励努力セヨ！」の会場として三笠講堂を提供し、約200名が参加した。

(4) よこすかYYのりものフェスタ

6. 13（土）及び14（日）、三笠公園で開催された「よこすかYYのりものフェスタ」に協賛し、観覧料（大人、シニア、高校生）を一律300円（中学生以下は無料）とした。（来艦者：4, 672名：昨年比127. 0%）

(5) よこすか灯籠流し

7. 16（木）「よこすか灯籠流し」に協賛し、荒天のため、灯籠準備場所として下甲板を、灯籠供養法要場所として講堂を提供した。（法要参加来艦者：約400人）

(6) 横須賀夏期防衛講座

7. 26（土）横須賀夏期防衛講座に協賛し、講堂で防衛大学校 国分良成校

長の講話を行い、約300名が来艦した。

(7) ドル街横須賀

8. 1 (土) から12. 27 (日) までの間、横須賀市主催の「ドル街横須賀」に協賛し、「観覧券を米ドルで購入できる態勢」とした。(購入者74名)

(8) よこすか開国花火大会

8. 1 (土) 「よこすか開国花火大会」に協賛し、上甲板を主催者及び三笠保存会招待者に無料開放した。(来艦者：約700名)

(9) 海上自衛隊カレーフェスティバル

10. 10 (土) 三笠公園で行われた「海上自衛隊カレーフェスティバル」に協賛し、「海軍ラムネ瓶詰め体験コーナー」、「軍服着用コーナー」及び「ハンモック体験コーナー」の開設並びに「大人も参加できるスタンプラリー」を行った。(来艦者：約700名)

(10) JR東日本企画 シルク&近代遺産 歴史スタンプラリー

10. 19 (月) から11. 30 (月) までの間、「JR東日本企画 シルク&近代遺産 歴史スタンプラリー」に協賛し、スタンプ台を設置に協力した。

(11) メカニックデザイナー宮武一貴原画展

10. 24 (土) から11. 30 (月) までの間、「メカニックデザイナー宮武一貴原画展」に協賛し、展示会場として下甲板を提供した。同原画展のオープニング行事(トークショー)及びクロージング行事(サイン会)会場として講堂を提供した。

(12) 横須賀サブカルチャーフェスティバル(ヨコカル祭)

10. 31 (土) 三笠公園等で行われた「横須賀サブカルチャーフェスティバル(ヨコカル祭)」に協賛し、フェスティバル参加のコスプレイヤーに撮影場所として前甲板等を提供した。

(13) 国旗のある自由画入選作品展

11. 4 (水) から11. 25 (水) までの間、第2ビデオ室において入選作品21点を展示した。

(14) よこすか産業まつり

11. 7 (土) 及び8 (日) 「よこすか産業まつり」に協賛し、観覧料(大人、シニア、高校生)を一律300円(中学生以下は無料)とした。(来艦者：2,900名)

(15) 横須賀市民割り

2. 1 (月) から2. 28 (土) まで「横須賀市民割り」に協賛し、横須賀市民の観覧料(大人、シニア)を一律300円とした。(来観者：390名)

(16) 市民大学講座

2. 4 (木) 横須賀市民大学講座「横須賀明治史」(講師：評議員 今原邦彦氏)に協賛し、セミナー(講堂)の後、艦内を案内した。(来観者：60名)

(17) 海洋教育フォーラム

3. 12 (土) 海洋教育フォーラムに協賛し、三笠講堂を提供した。(参加者：160名)

(18) 日米親善よこすかスプリングフェスタ

3. 20 (日) 「日米親善よこすかスプリングフェスタ」に協賛し、観覧料(大

人) 600円を500円とした。(来艦者：3,057名)

7 広 報

(1) 広報資料の配布

旅行シーズンに合わせて2月に関東、東海、中部及び北陸1都15県の旅行会社6,800社に、挨拶状を添え記念艦三笠、軍港めぐり、猿島及びポートマーケットのパンフレットを配布した。

(2) 委託ガイドによる定時艦内ガイドツアー

土日及び祝日に三笠観覧者の希望者に艦内ガイドツアー433回(5回/日、延べ11,341名)を実施した。

(3) メールマガジンの配信

三笠に対する関心を維持向上するため、役員及び会員等の希望者に対し行事の予定、実施の状況等をお知らせするメールマガジンを4回配信した。

(4) 会報「みかさ」の発行

「みかさ」第28号を作成し、会員及び関係先に配布した。

(5) 三浦半島の魅力展示会への参加

3.12(土)横浜そごう入口前通路で行われた、神奈川県都市公園課の企画の「三浦半島の魅力展示会」に職員を派出しPR活動を行った。

(6) 広報記事の新聞等への掲載

読売、毎日、産経、神奈川、西日本、北国新聞に記念艦「三笠」と特別展等のPR記事を掲載した。

(7) 観光事業者等との交流

7.17(木)横須賀市観光協会主催の商談会に参加し、参加旅行者へPR活動を実施した。

(8) 報道機関等への協力

ア テレビ局等への協力

協 力 先	協 力 内 容
ウォーゲーミングジャパン(株)	撮影協力
韓国KBS	撮影及び取材
中華人民共和国中央電子台	撮影及び取材
BS TBS	「沈黙の提督 東郷平八郎」撮影取材
BS TBS	「THE歴史列伝 戦艦大和 撮影
フジテレビ	「EXILE JP CASINO」撮影
NHK	「探検バクモン」制作
NHK BS	「新日本風土記」撮影
FMよこすか	20万人達成、特別展の取材(生放送対談)
テイチクカラオケ	鳥羽一郎「海の防人」背景撮影
タイ王国 テレビ局	番組制作・撮影

イ 雑誌等への協力

協 力 先	協 力 内 容
歴史街道	「日本海海戦と記念艦三笠」についての増田会

	長への取材
旅の手帳	撮影取材
るるぶ	「ゆとりドライブバリアフリー旅」撮影

(9) 実習等への協力

ア 職場体験実習受入れ

次の横須賀市立中学校の職場体験実習に協力し、金物磨き及び観覧者対応を体験させた。

27. 11. 4 (水)～11. 6 (金)：常葉中学校2年生3名

28. 1. 26 (火)～1. 28 (木)：野比中学校2年生3名

イ 横須賀海洋少年団への協力

横須賀海洋少年団の訓練に計10回協力した。

ウ 社会体験研修協力

7. 30 (木)～8. 1 (土)神奈川県立大津高等学校教諭1名の社会体験研修を受入れ、協力した。

8 観覧者

5月、7月、8月、9月は前年度を多少下回ったが、その他の月においては前年度を上回り、無料観覧者を含めた総観覧者数は51年ぶりに25万人を超えた。また、それぞれの節目の10万人(8. 14)、20万人(12. 23)及び25万人(3. 28)認定セレモニーを開催した。

(1) 有料観覧者数

月別	平成27年度	前年度比 (%)	平成26年度
	有料観覧人員		観覧人員
4	15,575	100.2	15,546
5	31,262	96.9	32,268
6	20,445	119.2	17,146
7	14,858	99.8	14,891
8	20,433	95.5	21,399
9	20,888	99.9	20,901
10	26,402	143.6	18,386
11	24,507	108.5	22,591
12	9,782	131.3	7,451
1	12,968	107.8	11,153
2	13,968	111.7	12,508
3	20,462	109.2	18,739
有料計	230,606	108.3	212,979
無料計	22,750	111.6	20,369
総計	253,356	108.6	233,348

(2) 観覧料収入

観覧料収入は119,063千円(前年度比112.2%)となった。

(参考) 26年度：106,087千円 25年度：75,496千円

(3) 団体観覧者

ア 団体観覧者数64,302名(前年度比：114.3%)

イ 団体観覧者数上位都府県 ※○内数字は昨年度の順位

順位	都府県	延人員(前年度比)	順位	都府県	延人員(前年度比)
1①	東京	20,804(132.8%)	6⑨	長野	2,048(125.8%)
2③	千葉	5,894(118.1%)	7⑩	群馬	1,997(131.1%)
3②	神奈川	5,329(101.3%)	8⑥	山梨	1,694(95.8%)
4⑤	埼玉	4,576(105.1%)	9⑦	茨城	1,681(98.5%)
5④	静岡	3,801(81.6%)	10⑧	群馬	1,488(97.5%)

(4) 主要来艦者

4月	ドイツ海軍軍令部政策課長ユルゲンマンハート少将他3名
5月	米海軍兵学校生徒7名
6月	NATO加盟国国会議員団18名
	(株)日本製鋼所代表取締役社長 佐藤育男氏ほか4名
	JOHON HOPKINS 大学教授 Eliot A. Cohen 氏 群馬県高崎市「東善寺」住職 村上泰賢氏
7月	防衛大学校長 国分良成氏
8月	アルゼンチン駐在武官ジャラルド・クラウディオ陸軍大佐ご夫妻
	「OBON2015」及び「US Maritime Raider Foundation」メンバー
9月	台湾海軍士官候補生4名、教官4名
	ミャンマー軍医官4名
	防人と歩む会会長 葛城奈海氏ほか会員27名
	伊藤忠商事(株)会長 小林栄三氏ほか2名
	ニュージーランド国防次官ヘレン・クイルター閣下他駐日大使館付武官等7名
10月	在日米海軍司令官他隷下部隊指揮官等14名
	防大留学生11名
	オーストラリア海軍士官候補生3名
	韓国海軍士官候補生7名
11月	とみもと卓杉並区議員ほか同区議講演会員140名
	日向市商工会議所会頭ほか4名
	麻生セメント(株)代表取締役社長 麻生 泰ご夫妻
	横須賀地方地方総監 井上 力海将
	米空軍士官候補生3名
12月	横須賀地方地方総監 堂下 哲郎海将
	インド国防軍士官候補生2名
	埼玉県川口市中学校校長会25名
1月	タイ王国軍士官候補生7名

2月	シンガポール海軍士官候補生等5名
	英国議会下院議員4名
	タイ王国軍学校職員26名
	北海道三笠市市議会議員 齊藤 亘 氏
3月	在日米海軍司令官及び司令部スタッフ19名、横須賀地方総監及び総監部部課室長16名
	米国加州コロナド市議会議員 WIWODE 氏
	横須賀地方総監部幕僚長 杉本孝幸海将補

(5) 防衛省職員の研修

自衛隊の30部隊等の隊員職員（延べ2,066名）が研修のため来艦した。

9 会 員

(1) 会員数

休眠会員（年会費3年以上未振込、郵便物送付不可等）を退会処理とした。

会員の種類		新入会員数		年度末会員数	
		27年度	26年度	27年度	26年度
個人 会 員	通常会員	90	118	1,055	1,142
	終身会員	80	89	2,473	2,417
	維持会員	8	11	162	155
	計	178	218	3,690	3,714
法 人 会 員	通常会員	3	4	61	61
	終身会員	1	0	23	22
	維持会員	0	0	16	16
	計	4	4	100	99
合 計		182	222	3,790	3,813

(2) 月別会費収入

(単位:千円)

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
27年度	720	257	232	383	561	416
26年度	541	536	430	473	268	316

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
300	291	236	304	268	308	4,276
448	159	364	515	556	390	4,996

(3) 会員の増勢

ア 海自第2術科学校において上級管理講習者に対し、三笠保存会入会勧誘を2回実施した。

イ 会費未振込みの会員に対して継続をお願いするとともに、ゆうちょ銀行による年会費の自動払込利用により会員の囲い込みに努めているが、27年度末で17名と利用者が伸び悩んでいる。

10 運 営

(1) 会 議

名 称	年 月 日	場 所
第13回運営委員会	27. 6. 1	記念艦「三笠」
第 8回理事会	27. 6. 4	
第 8回評議員会	27. 6. 19	
第14回運営委員会	27. 9. 17	
第15回運営委員会	27. 11. 19	
第16回運営委員会	28. 1. 19	水交会
第 9回理事会	28. 3. 15	記念艦「三笠」
第 9回評議員会	28. 3. 23	

(2) 規則の改正

三笠保存会給与支給規則（平成24年4月1日）別表「基本給表」の最低等級最低号俸額（4等級1号俸：129,000円）が神奈川県最低賃金を下回っていることから、最低等級最低号俸額を改正し、これを基準に「基本給表」を10.1付全面改正した。

(3) 職員人事

ア 職員の異動については次のとおりである。

配 置	退 職	採 用
総務部長	齋藤 等	田村 博義
広報課長	曾川 正	早乙女 貴志

イ 27年度末における職員数は次のとおりである。

正職員	再雇用	パート	計
8 ※1	3	5 ※4	16 ※5

注：※印は女子職員を示し、内数である。

(4) 関係官公庁、友好団体等行事への参加

- ア 靖国神社及び東郷神社の春・秋例大祭等
- イ 海上自衛隊、関係官公署、友好団体等の行事

(5) 職員の研修

- ア 12月中旬、職員による三笠説明発表会を開催し、相互啓発を図った。
- イ 2月初旬、三笠職員16名が三笠観覧態勢の充実を図るため、3回に分けて横須賀軍港めぐり及び横須賀美術館を研修した。

(6) 監 査

9. 18（金）海上自衛隊横須賀地方総監との「記念艦三笠運営委託契約書」の第15条（監査）に基づき、横須賀地方総監部による監査を受けた。今回は主に会計を主とした監査内容であり、指摘事項は速やかに改善した。また、今後の監査の周期や内容等については相互に検討することとされた。

11 売店部

(1) 営業収入

27年度商品総売上高は5,369万円で昨年度の4,716万円に比べ13.8%の増となった。

売上増加策として、次の新商品を開発した。

- ア 日本海海戦110周年記念 三笠クリスタル文鎮
- イ デコクリーナー（携帯電話画面拭き）
- ウ 三笠特製クリアファイル
- エ 三笠トートバック
- オ 日本海海戦110周年記念演奏会CD
- カ 2016世界三大記念艦「三笠」カレンダー
- キ TUNAMIよこすか海軍カレー
- ク ネガ風アクリルキーホルダー
- ケ 特別展 三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション模型写真集

(2) 通信販売

三笠ホームページ・ショッピングサイトによる通信販売は、取扱件数234件、販売金額76万5千円であり、昨年と比較し件数は40.0%増、金額は7.6%減となった。

(3) その他

- ア 中甲板世界三大記念艦ホールに記念写真ボックスを設置した。
- イ 27.7.13（月）三笠売店看板を「たなびくZ旗」を背景とした看板に掛け替えた。
- ウ 28.1.18（月）から1.29（金）まで間、売店を休業とし、Z旗の4色をモチーフにした機能的かつおしゃれな店構えに店内を大改装し、1.30（土）新装開店した。
- エ 28.2.1（月）から売店窓口でのクレジットカード決済を再開した。

12 その他

JTB企画の旅行「日本海海戦110周年 三笠会 米国訪問の旅8日間」に協賛し、11.20（金）から11.27（金）までの間、古宇田局長付を参加させた。

日本海海戦110周年記念事業について

1 記念行事

(1) 特別展の開催

題名：「日本海海戦と横須賀製鉄所」

祝：横須賀製鉄所150周年/日本海海戦110周年

期間：平成27年5月2日(土)～11月30日(月)

場所：記念艦「三笠」特別展示室

(2) 記念演奏会

日時：平成27年5月16日(土) 14:00～15:30

場所：横須賀芸術劇場

出演：海上自衛隊東京音楽隊

来艦者数：約1300名

(3) 記念講演

日時：平成27年5月23日(土) 14:00～15:30

場所：記念艦「三笠」講堂

講師：JR東海代表取締役名誉会長 葛西敬之氏

来艦者数：約200名

(4) 記念式典

日時：平成27年5月27日(水)

場所：記念艦「三笠」講堂等

参加者：約500名

その他：式典後、講談（一龍齋貞家師匠）、横須賀音楽隊演奏及び祝宴を実施

2 行事、展示改修経費等

(千円)

区 分		実施時期	費用	
行事	全般	ポスター等	27.01-03	216
	広報	新聞全面広告2回、特別展9回	27.01-06	5,070
	特別展	ポスター、パネル、看板作製等	27.05	1,155
	記念演奏会	会場・設備使用料、プログラム作成、警備、謝礼等	27.05	1,074
	記念講演	謝礼、看板等	27.05	593
	記念式典	祝宴、記念品、謝礼等	27.05	982
	計			9,090
展示の改修等	チーク甲板整備	ガラス塗装	26.03	3,200
	特別展示ケース作成	艦隊コレクション用	26.07	4,587

模型「三笠」の借用	輸送、展示ケースの作成	26.09	871
艦橋等の整備	操舵室内、前部シェルターデッキ内整備 後部羅針儀整備	26.10	3,584
追悼室絨毯張替	張替	27.01	286
士官室、長官室等整備	各浴室・食器室床の整備、浴室洗面台整備、長官室スロープ作成、通行用絨毯張替	27.02	2,196
錦絵DVD作成		27.02	1,375
主砲揚弾装置DVD作成		27.03	600
副砲周囲外舷塗装		27.04	1,308
2・12番砲室展示替	2・12番砲室塗装、揚弾装置復元、人形作成、砲の整備	27.07	2,531
その他	人力操舵舵輪整備、後甲板戦歴表示盤整備、人感スピーカー、時鐘2個整備	27.06	570
計			21,108